

おぢや 市議会だより



NO. 96

令和 2.4.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



小千谷高等学校写真部 撮影

- 第1回定例会議決結果…………… P2
- 常任委員会報告…………… P3
- 一般質問…………… P4～7
- 議会日誌…………… P8
- 雪あかり、編集後記…………… P8

—主な掲載内容—

第 1 回 定 例 会 議 決 結 果 (2月26日から3月19日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第11号	小千谷市行政不服審査法施行条例及び小千谷市固定資産評価審査委員会条例の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第12号	小千谷市監査委員条例の一部改正	〃	〃
	議案第13号	小千谷市公益的法人等への職員派遣等に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第14号	小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成多数	修正可決
	議案第15号	小千谷市職員退職手当積立金の設置及び管理に関する条例の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第16号	小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	賛成多数	〃
	議案第17号	小千谷市営住宅条例の一部改正	全会一致	〃
	議案第18号	小千谷市公営企業の設置等に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第19号	小千谷市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	〃	〃
予 算	議案第1号	令和2年度小千谷市一般会計予算	賛成多数	〃
	議案第2号	令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計予算	全会一致	〃
	議案第3号	令和2年度小千谷市介護保険特別会計予算	〃	〃
	議案第4号	令和2年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	〃
	議案第5号	令和2年度小千谷市工業団地事業特別会計予算	全会一致	〃
	議案第6号	令和2年度小千谷市ガス事業会計予算	賛成多数	〃
	議案第7号	令和2年度小千谷市水道事業会計予算	〃	〃
	議案第8号	令和2年度小千谷市工業用水道事業会計予算	〃	〃
	議案第9号	令和2年度小千谷市下水道事業会計予算	〃	〃
	議案第20号	令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第6号)	全会一致	〃
	議案第21号	令和元年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
その他	議案第10号	専決処分(令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第5号))	〃	承認
	議案第22号	小千谷市財政調整積立金の処分	〃	原案可決
	議案第23号	定住自立圏形成に関する協定の変更	〃	〃
	議案第24号	小千谷市営土地改良事業(災害復旧)の施行	〃	〃
	議案第25号	小千谷市教育委員会委員の任命〔和田正樹氏〕	〃	同意
	議案第26号	小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任〔本田毅氏〕	〃	〃
発 議	発議案第1号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	〃	原案可決
請 願	請願第1号	IR推進法およびIR整備法の廃止を求める請願	賛成少数	不採択

議 員 賛 否 の 状 況 (採決において賛否が分かれたもの)

	議決結果	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	佐藤隆一	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	田中淳	山賀一雄	本田剛
議案第1号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
議案第4号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
議案第6号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
議案第7号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
議案第8号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
議案第9号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
議案第14号(修正案)	修正案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	-	○	○
議案第14号(修正案を除く原案)	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	-	○	○
議案第16号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
請願第1号	不採択	4	11	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	-	×	×

※ ○は賛成、×は反対、議長(田中淳)は採決に加わりません。

◆議案第14号について

施行日 令和2年4月1日を令和2年10月1日とする修正案を可決

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案13件及び請願1件を慎重に審査した結果、議案はすべて原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件は採択しないものと決しました。

委員会での主な討論

○議案第14号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

非常勤の特別職である市議会議員の報酬引き上げは市民の理解が得られないと考え、反対。

○議案第1号 令和2年度小千谷市一般会計予算について

一般市民や中小業者は、米中経済危機、消費増税で経済が落ち込み、新型コロナウイルスによる深刻なダメージを受けている。予算案には前進面もあり評価する施策はあるが、子育てや高齢福祉、農業、中小企業者支援にもっと機敏で重点を置いた予算編成が必要と考え、反対。

○議案第6号から議案第9号までの令和2年度企業会計予算4議案について

消費増税分を含む予算編成は避けるべきと考え、反対。

○請願第1号 IIR推進法およびIIR整備法の廃止を求める請願

経済的な政策の中でのIIR推進法及びIIR整備法は、観光産業の進行、地域経済の活性化、財政の改善の3点を目的としている。依存症というのは、ギャンブルに限ったものではない。ギャンブルとどう向き合うかは改めていろいろな場で議論すべきと考え、反対。

ギャンブル依存症患者が300万人いると言われている。ますます増大し、家庭も人生も破綻し、治安の悪化を招くことは明らかであり、賛成。

厚生労働省は2020年度からギャンブル依存症の治療を医療保険の適用対象とする方針を決定。国民生活、市民生活にとっても医療保険の部分が圧迫してくることに十分影響がある状況である。このIIR、カジノ等が日本の成長戦略を託すものとしてふさわしいのか、現時点の情勢を考慮しても市民からも国民からも危惧される状況であり、賛成。

○一般会計予算審議での意見

・ 公共施設における再生可能エネルギー設備の導入を。
・ 市職員のタイムカード導入の検討を。

・ 市民が活動しやすい環境作りのために市民協働の推進を。
・ 和装街歩き体験事業について活性化するやり方を。
・ 古紙や紙類の収集によるリサイクルや減量化についてのアピールを。

・ 防災用品の備蓄について。
・ 通所サービス事業所に通所する場合の交通費補助。

・ 早急な山本山整備。
・ 道路改良工事で早急な歩道の設置と舗装工事を。

・ 東京小千谷学生寮に女子の入寮実現を。

・ 総合体育館空調設備の更新。
・ 教育委員の人選について。
・ 予算書の表記の仕方について。

・ 気候変動、温暖化の観点から事務事業の見直しを。
・ 交流人口を増やし定住人口に繋げていくような小千谷市の魅力を考えて。
・ 空き家等の対策を万全に。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案7件を慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第16号 小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国が示す「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の一部が改正されたことに伴い、設備の基準、職員に関する規定等を改正するものです。

○議案第17号 小千谷市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、入居資格である同居親族要件及び特例による単身入居の面積要件等を廃止し、入居者が市営住宅を明け渡す際の敷金の徴収、明渡請求の規定等を改正するものです。

○議案第21号 令和元年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

本案は、国民健康保険基盤安定負担金において基本額の増額により、一般会計予算の国県負

担金が増額となったことによるものです。

○議案第2号 令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について

本案は、前年度と比較して0・6%減の歳入歳出それぞれ31億3351万円とするものです。

○議案第3号 令和2年度小千谷市介護保険特別会計予算について

本案は、前年度と比較して4・2%増の歳入歳出それぞれ39億2020万9千円とするものです。

○議案第4号 令和2年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

本案は、前年度と比較して5・3%増の歳入歳出それぞれ8億628万3千円とするものです。

○議案第5号 令和2年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

本案は、歳入歳出それぞれ50万円とするものです。



市政の内容を聞く

一般質問

就学援助拡充、公共交通、気候変動の対応

内山 博志 議員

質問 OECDによれば先進35カ国で日本は公的支出が最低となっている。憲法に国として義務教育は無償とするがあるが自治体も努力すべき。実質所得が下がり続けているのに認定率は下がっている。基準を引き上げ充実させるべきだ。めがね、コンタクトレンズの購入費補助を検討すべき。

教育長答弁 世帯所得の増加により認定者が減少した。平成25、30年に生活保護基準が引き

下げられたが当市では引き下げ前の基準で対象者に有利な認定を行っている。基準の見直し、補助は考えていない。

質問 免許返納者が年々増加している。ドアツードアのデマンドタクシーなど利用しやすい公共交通の具体化を急ぐべき。

答弁 地域からの相談もあり、コミニティバス導入の意見交換を行っている。地域支援事業の検討や福祉事業との連携、費用対効果、利便性の高い公共交通確保に努めていく。

質問 地球温暖化に対する最も信頼できる国連機関、IPCCが昨年、特別報告を発表。気候変動は大惨事をもたらし、この10年で行動しなければ手遅れになると警告。世界でCO2排出を2050年までに実質ゼロにする必要がある。日本は石炭火力発電を進めており、後ろ向きだ。市は危機感を持ち、再生可能エネルギー導入支援策を進めべき。

答弁 令和2年度、環境基本計画の見直し予定であり、昨今の国際的な動向も考慮する。再エネ、省エネなどを目的とする住宅リフォーム補助制度を実施する予定。

中小企業対策・感染症・工事の平準化他

住安 康一 議員

質問 鉄工電子協同組合を中心として、昨年より仕事量が落ち込んでいるが、現状認識は。支援の第2弾はないのか。商工会議所との連携はどうか。

答弁 基幹産業である製造業を始めたとする景気の落ち込みは、米中貿易摩擦や日韓関係、そして新型コロナウイルス感染症が複合的に作用していると分析。国・県の動きを注視しながら、商工会議所とともに、両輪となって適切に対応する。

質問 災害時対応の備蓄マスクを必要に応じ使用すべき。

答弁 医療、保健、消防・救急及び訪問介護などを行う機関、団体、事業所に対して、1万5千枚を配布。残りは対応職員用。

質問 人口減少に応じた事業の在り方について、その目的と根拠をはっきりさせ、事業の総点検が必要ではないか。

答弁 総合計画実施計画の策定

や予算編成にて、3点を指示。
①常に費用対効果と財源の確保に留意②前例を踏襲することなくゼロベースから検証し、事業を構築③スクラップアンドビルドや終期の設定に努めること。

質問 保育園の民営化、ガス事業の民営化についての考えは。

答弁 保育園の適正配置に向けた基本方針を策定中。保育園運営委員会において意見をもらう。ガス事業では、「ガス事業のあり方検討委員会」を設置し、検討する。どちらも民営化ありきではないが検討は必要。

質問 公共工事の平準化は。

答弁 早期着工が可能な工事を年度当初にまとめて発注。また、債務負担行為を設定し、雪消え後の早い時期から施行できるよう柔軟な対応を行っている。

小千谷市総合戦略の進捗と分析について

大矢 弘光 議員

質問 この5年間の人口動態に関する分析について。

答弁 学業よりも就業を理由とした県外転出者数が多く、景気動向による希望職種や雇用条件を求めている転出が多いのではないか。また、職業を理由とした15〜34歳の県外からの転入者増加の傾向にも注目している。

質問 出生数目標値に関して。

答弁 ストレッチターゲットとしての目標を設定した。未婚率の低減と晩婚化の進行抑制により初産と第2子以降の出産の両面から出生数の増加を目指す。

質問 女性のUターンを推進するため、ふさわしい業種の企業誘致・新規開業、住宅、出産・子育て支援など、女性をターゲットの事業に力を入れるべき。

答弁 東洋経済新聞社「住みよさランキング」平成27年の30〜40歳代女性労働率では全国13位、平成27年国勢調査で35〜39



歳女性の労働力率の高い傾向など、女性が就業しやすい環境のまちであると数値に表れているが、検討すべき課題の一つと考える。

質問 地方創生の自治体間競争についての見解と今後の方向性。

答弁 人口、特に若い世代の争奪戦が行われ、財政力が優劣の要因となる場合が少なからずある。医療費、通園費の助成や就学援助費の支給などは、自治体が競い合うように制度の拡充を繰り返しており、財政の硬直化を招く一因になりかねないと危惧している。国に対し財政力に左右されない子育て支援制度などの確立を訴えていくと同時に、施策推進に当たり、過度に他の自治体を意識することなく、健全な財政状況維持を念頭に成果の最大化に努める。



当市の待ったなしの改善課題について

長谷川有理 議員

小千谷学生寮の不平等解消を

質問 新年度女子の入寮を責任をもって実現すべき。

教育長答弁 無理。風呂が問題で今夏造成し検討していく。今後の小千谷奨学会会議で提言。子育て支援について

質問 病児病後児保育利用が少ない。原因探求と広報の強化を。

答弁 病児病後児保育の現在登録27件、利用が1月・2月は0件、3月で現時点2件。受入基準改定を協議中。子育て環境が良いので利用が少ないのでは。

質問 国の支援事業の利用で多胎児家庭支援や子育て施設整備、虐待防止対策等への事業拡充を。

答弁 国・県からの詳細待ち。小千谷病院における産科・産科医師の継続・確保について

質問 日本産科婦人科学会が公開した試算によると現在分娩可能な県内19施設中、2025年に16施設、2035年に9施設に削減しなければ医師の働き方

改革等を考慮すると産科は維持できないとある。当市ではどのように維持・確保を図っていくのか。

答弁 平成30年度254件、令和元年度2月まで248件の分娩数。産科継続が当市のストロングポイント。市あげて分娩数を維持し、県厚生連と連携して医師確保していく。



待望の病児保育が開始

新型コロナウイルス感染症対策

質問 所管の明確化、医療機関、県や長岡保健所との連携強化を。

答弁 危機管理課と健康・こどもプラザが所管。長岡地域振興局、長岡保健所、医療機関と連携している。

質問 当市の備蓄の現状は。

答弁 防護服・ゴーグル・マスク・ゴム手袋・靴カバー・手指消毒用アルコールを備蓄。

質問 現時点(3月16日)で国や県から市へ不足するマスクや手指消毒用アルコールの配布は。

答弁 国や県からはありません。

病児・病後児保育、中学校の校則、香害について

森本恵理子 議員

病児・病後児保育について

質問 オープン当初の受け入れ基準は病後児保育のものであり病児保育を始めた、とは言い難いものであった。早くも受け入れ基準の緩和を進めたところは評価するが、今後も利用状況や市民の声に応じて受け入れ基準の緩和はありうるのか伺う。

答弁 事前予約なしに空きがあれば受け入れ可能にすること等について、利用状況により可能であれば対応する。

中学校の校則と人権について

質問 校則とは行動の指針であ

るにも関わらず服装や頭髪等を制限している。30年以上前から変わっていないものも多い。頭髪に関しては生まれ持ったの本質を差別する人権侵害であり、表現の自由を侵すものである。LGBTの生徒への配慮もない。厳しい校則があることで子どもたちがお互いを監視し合っている。いじめの要因ともなりうる。子どもたちを信じ、時代に即した校則に、早急に見直していくことが必要と考えるが見解を伺う。

教育長答弁 地域や学校の実態に合わせて、生徒と学校、保護者が十分議論し、見直していくことが大切であると考えます。



香害について

質問 近年、香りが長持ちする柔軟剤などの人工的な香りにより体調を崩す化学物質過敏症の方が増えている。学校においても共有の給食着の匂いがきつく具合が悪くなる児童もいる。見解と今後の対応を伺う。

教育長答弁 匂いの感じ方は人それぞれ違い、一律に規制することが相応しいか議論が必要。困っていることがあれば、学校に相談し、適切に対応していくべき。

総合戦略・再生可能、自然エネルギーの活用について

駒井 和彦 議員

質問 4つの基本目標毎評価及び審議会の評価・意見について

答弁 基本目標①困難な項目がある一方、概ね順調。基本目標②概ね順調、委員からは「転入者増加に繋がる取組の継続」の意見あり。基本目標③年間出産目標達成に向け、長期的な視点で総合的に施策を展開、委員からは「出産・子育てしやすい環境づくりを」の意見あり。基本

目標④目標どおり完了した項目あり。目標に向け順調。委員からは、市民協働の意識醸成に取り組むことなど意見あり。

質問 スマート農業への取組は。

答弁 令和2年度に先進地視察研修を計画し、次世代を担う若い農業者の参加を期待している。

質問 関係人口の創出・拡大による地域情報発信と交流促進についての今後の展開等について。

答弁 ふるさと納税とおぢやファンクラブの連携強化、首都圏在住の当市出身者の組織づくりに対する支援を検討したい。

質問 再生可能・自然エネルギーについての見解は。

答弁 二酸化炭素を排出せず、持続的に利用可能であり、環境面で期待できる。コスト面で持続性の確保が難しく、安定的なエネルギー供給の面で課題は多い。最新の動向を注視し、利用拡大の取組を進めたい。

質問 当市エネルギービジョン案についてのパブコメについて。

答弁 29件あり。今後も適宜ご意見を伺いながら見直ししていく。

質問 目標達成のため、どのよう重点ビジョンを展開していくのか。

答弁 市民、事業者、行政が一体となって取り組む必要がある。事業化に向けた検討を進める。



伝統民俗芸能と地域活性化事業について

平澤 智 議員

小千谷市伝統芸能保存連絡会議は生涯学習課が事務局となつて市内14団体が加盟、市内団体の実情把握ならびに国民文化祭発表会の企画や各種助成事業等々各団体の活動の支援をいただいてきた。

質問 市内にはまだ活動している未加盟の伝統民俗芸能の団体

はあるのか。会員拡大の可能性はあるのか。

教育長答弁 公民館分館を通じ有無について調査した。17団体の14団体が加盟。今後も他団体へも参加を呼びかけていきたい。

質問 連絡会議の今後の地域活性化に向けてどのような計画を持っているのか。具体的には後継者育成について連絡会議としての具体的な施策についてはどのようなものがあるのか。短期的な施策だけでなく5年10年先を見据えた長期的な施策は。

教育長答弁 3年間の事業計画を策定しており令和2年度はシンポジウムの開催と用具修理記録の映像作成を支援する予定。今後はパンフレット作成や体験教室ジュニアフェスティバルの実施を予定。保存・育成・活用事業を念頭に置き、事業を推進したい。

質問 会員団体に向けて連絡会議事務局としての要望・取りまとめてもらいたいことや期待するところ、お願いしたいこと等ありますか。

教育長答弁 各団体も日頃から地域住民や学校と連携し活動の実施や情報の発信、加盟団体等

との情報交換や交流を行ってほしいと考えている。特に様々な活動をとおして、親世代の方々から地域に伝わる伝統芸能の魅力や意義を感じるきっかけを作っていただきたい。

小千谷市の学校教育について

佐藤 栄作 議員

質問 イエナプラン教育についての見解と公立・私立学校の導入について。

教育長答弁 イエナプランの理念を読み解くと、異年齢集団による学びや対話とコミュニケーションを重視していることが分かりますが、イエナプラン教育の導入については考えていない。

質問 おぢやっ子教育プランにイエナプラン教育は反映されているのか、その後の教育プランに取り込む考えがあるのか。

教育長答弁 プランに反映されていないが、各校では、縦割り班の活動を導入し、異年齢集団の取り組みを行っている。理念や特徴の中で重なる部分がある

が、次回の教育プランに取り込む考えはない。

質問 イエナプラン教育について東山小学校をモデル校として検討する考えはないか。

教育長答弁 東山小学校のみに導入することは妥当ではない。

質問 品格教育を身につけることによりいじめや不登校がなくなるかと考えるが。

教育長答弁 教育の徳育の部分と捉えておられますが、品格教育だけではなくなると考える。

質問 スクールロイヤーを市内に配置する考えと中越地区の動向は。

教育長答弁 市には顧問弁護士があり、難しい事案は適宜相談する体制を取っており、配置する予定はない。令和2年度の配置人数は、中越では4名。市教育委員会も活用できる。

質問 いじめ防止をテーマとした出張授業や、教職員の研修は。

教育長答弁 校長や教頭、生徒指導担当の教員などに研修会を実施している。

気候変動、少子・高齢化と向き合うために

佐藤 隆一 議員

質問 エネルギービジョンに掲載されている気象観測データは、2008年から2018年までの平均値で、経年変化が分かりません。何を示したかったのですか。

答弁 現在の小千谷市の自然特性を把握することを目的に使用しているもので、市独自に将来の気象予測を行う考えはありません。

質問 エネルギービジョンでは、天然ガスへの切り替えが有力な実行計画だとしています。小千谷市の持可能な発展には再生可能エネルギーの普及が重要ではないのですか。

答弁 小水力については発電地点の近くに電力を使う施設がなく、コスト面で可能性は低いと思います。

質問 新たな処分場建設はどのように考えていますか。

答弁 単独とするか周辺自治体との共同とするか、外部委託と

するのかなど、あり方について検討します。

質問 高齢者世帯で毎日のゴミ出しが難しくなっています。町内会など課題の解決に向けて動き出したところもありますが、小千谷市の取り組みは。

答弁 地域で助け合うゴミ出し支援を全域に広げていきたいと思っています。

質問 ゴミの減量化には、分別のさらなる徹底が必要です。ゴミゼロ都市宣言を目指す考えはありませんか。

答弁 総論は賛成ですが、市民負担が増加することもあり、食品ロスをなくす、マイバッグの利用を促すなどの市民意識を高める啓発活動を続けてまいります。



ゴミの分別は手作業

本会議をインターネット中継しています

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像は概ね1週間後から3年間ご覧いただけます。

また、会議録も市ホームページで閲覧できます。一般質問等の詳細は「会議録の閲覧と検索」をご利用ください。(令和2年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。



URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/>

市議会を傍聴してみませんか

第2回定例会開催予定

- | | |
|----------------|-------------------|
| 6月8日(月) 第1日 | 議案上程説明 |
| 6月9日(火)~11日(木) | 各常任委員会審査 |
| 6月23日(火) 第2日 | 一般質問 |
| 6月24日(水) 予備日 | 一般質問(質問者が多い場合に開催) |
| 6月26日(金) 最終日 | 委員長報告、採決 |

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局 (Tel.83-3505) へお問い合わせください。

委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。



議会目録

1月～3月

〈1月〉

- 8日 広聴広報委員会
- 10日 会派代表者会議
- 16日 広聴広報委員会
- 17日 議員協議会
- 22日 総務文教委員会学校訪問と教育委員との意見交換会
- 24日 議員全員協議会
- 29日 旧小千谷総合病院跡地整備事業議員勉強会
- 31日 県市議会議長会春季定期総会（糸魚川市）

〈2月〉

- 12日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）
- 13日 旧小千谷総合病院跡地整備事業議員勉強会
- 14日 会派代表者会議
- 17日 議員協議会
- 17日 議会改革推進委員会
- 19日 議会運営委員会
- 26日 第1回定例会（本会議）

〈3月〉

- 2日 常任委員会連合審査会
- 27日 常任委員会連合審査会
- 28日 常任委員会連合審査会
- 〃 議員全員協議会
- 〃 広聴広報委員会

- 4日 総務文教委員会
- 5日 民生産業委員会
- 9日 議員協議会

- 〃 旧小千谷総合病院跡地整備事業議員勉強会
- 11日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議

- 16日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第2日）
- 17日 本会議（第3日）

- 〃 広聴広報委員会
- 19日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第4日）
- 〃 議員全員協議会

- 27日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議

- 2月 行政視察来市）
埼玉県川口市議会
滋賀県彦根市議会
- 3月 富山県朝日町議会

市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。ぜひご利用ください。



牛久保拓也（本町）

地域おこし協力隊として一昨年小千谷に移住してきました。前職はテレビ制作会社で、街を紹介する番組を担当していたので、地域活性のひとつとしてYouTube「おちや放送室」で小千谷の祭りや居酒屋を紹介する動画を配信しています。今まで色々な街を取材・発信してきましたが、一番大事なのは「らしさ」なのではないかと思っています。

例えば温泉郷でナイフとフォークは使いたくないし、都心で山菜はちよつと惹かれな

い。観光に行く人はなるべく現地の「らしさ」を体感したいはずです。

新潟県といえば、米・酒・雪。小千谷といえば錦鯉・花火・織物でしょうか。

「らしさ」の背景には必ず物語があります。身近な人の「らしさ」にその人がどうやって生きてきたか感じるように、街の「らしさ」にも歴史が見えます。

移住者の私には小千谷が雪と共に育って来た街に見えています。食文化はもちろん花火も錦鯉も織物も、彩度の高い鮮やかな色が多いのは、雪国ならではのじゃないかと思っています。

余談ですが上杉謙信公は多彩な衣装を残し染織史で特筆する人物なんだそうで、特に緋色のパッチワークに見られる鮮やかな赤は錦鯉や闘牛のイメージカラーに近い色使いだと思えます。

ただの豪雪地帯ではなく雪と共に育った小千谷らしい色を拾って発信して行きたいと思っています。

編集後記

近年にない暖冬少雪というよりも無雪状態で新年を迎えました。田植え時期やその後の用水が不足するのではない心配されます。

令和2年度の予算案の審議も終了しましたが新型コロナウイルスの全国的な蔓延により休校やイベント、集会、海外渡航等慎んでいただきたい旨の報道がありました。

社会機能のマヒがもたらす経済損失により重大な局面を迎える企業も多くなることがあります。国、県の窓口となつて、議員一丸となり取り組みたいと思います。

今年は東京オリパラの開催予定でしたが新型コロナウイルスの影響で一年延期となりました。残念ではありますが来年に期待したいと思います。新型コロナウイルスの収束が見えない中、当局においても発症者が出てしまいましたが、それにより地域コミュニティの崩壊にならないようお願いいたします。

くれぐれも三密にはご注意ください。

編集委員 阿部 守男